

今週のお祈り

聖霊降臨後第23主日特祷(特定28)

主よ、どうか主の民の心を奮い立たせてください。わたしたちが喜びを持ってみ業にあずかり、その深い恵みによって、み助けを受けることができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン



日本聖公会 東京教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 276

発行日
2025年
11月16日

教会の暦では1年の終わりが近づいてきました。静かに振り返り、思いめぐらしましょう。私たちが神様の大きな愛を感じながら、歩んでいくことができますように。今年は11/30(日)から新しい年となります。

今週の聖書 ルカによる福音書 21: 5-19

5 ある人たちが、神殿が見事な石と奉納物で飾られていることを話している、イエスは言われた。6 「あなたがたはこれらの物に見とれているが、積み上がった石が一つ残らず崩れ落ちる日が来る。」7 そこで、彼らはイエスに尋ねた。「先生、では、そのことはいつ起こるのですか。また、それが起こるときには、どんな徴があるのですか。」8 イエスは言われた。「惑わされないように気をつけなさい。私の名を名乗る者が大勢現れ、『私がそれだ』とか、『時が近づいた』とか言うが、付いて行ってはならない。9 戦争や騒乱があると聞いても、おびえてはならない。こうしたことは、まず起こるに違いないが、それですぐに終わりが来るわけではない。」10 そしてさらに、言われた。「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がる。11 また、大地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい現象や天から大きな徴が現れる。12 しかし、これらのことがすべて起こる前に、人々はあなたがたを捕らえて迫害し、会堂や牢に引き渡し、私の名のために王や総督の前に引張って行く。13 それはあなたがたにとって証しをする機会となる。14 だから、前もって弁明の準備をすまいと、心に決めなさい。15 どんな反対者でも、対抗も反論もできないような言葉と知恵を、私があなたがたに授けるからである。16 あなたがたは親、兄弟、親族、友人にまで裏切られ、中には殺される者もいる。17 また、私の名のために、すべての人に憎まれる。18 し

聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

「これがあれば大丈夫!」と思えるものはあるのか? お父さんお母さん? スマートフォン? 私たちはどうしても「目に見えるもの」に頼りたくなる。イエスさまの時代の人たちも同じだった。彼らは、とても大きくて、きれいで、立派な神殿を見て、「これは絶対にこわれない! ずっと残る!」と思っていた。でも、イエスさまは、「この神殿がこわれる日が来るよ。」と話した。イエスさまの言われた通り、四十年後、その神殿は敵によって本当にこわされてしまった。

どんなに強い人でも、どんなに立派なものでも、いつかなくなる時がくる。でも、神さまであるイエスさまだけは、ぜったいにいなくなるらない。だから私たちは、見えるものにばかり頼るのではなく、いつもそばにいてくださるイエスさまに頼ろう。そうすれば、惑わされることはないし、おびえることもなくなる。

かし、あなたがたの髪の毛一本も失われることはない。忍耐によって、あなたがたは命を得なさい。」